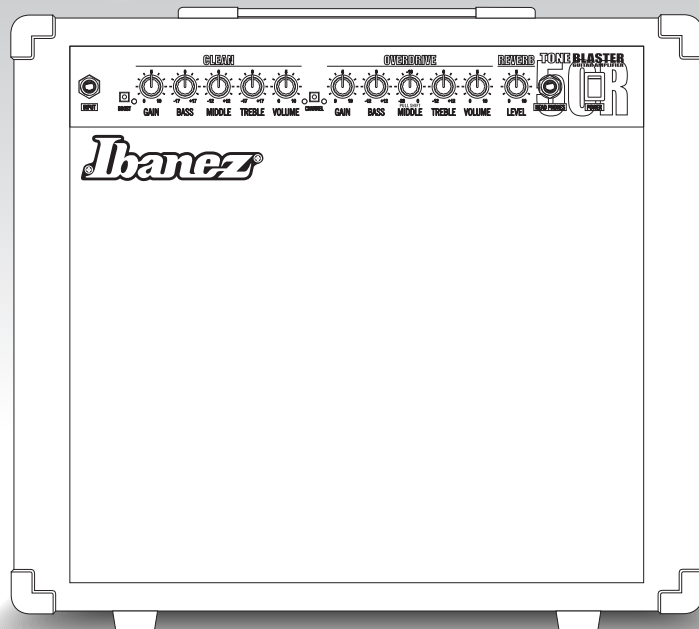


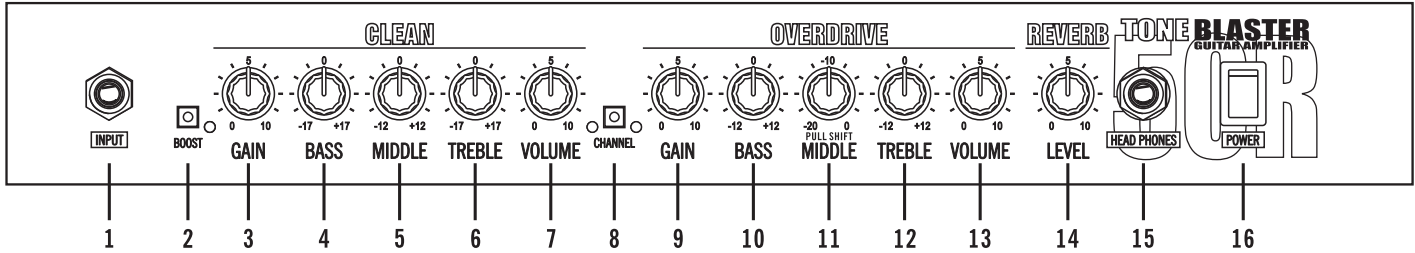
TONE BLASTER 50R

取扱説明書 / OWNER'S MANUAL / BEDIENUNGSANLEITUNG
MODE D'EMPLOI / MANUALE DI ISTRUZIONI / MANUAL DEL USUARIO

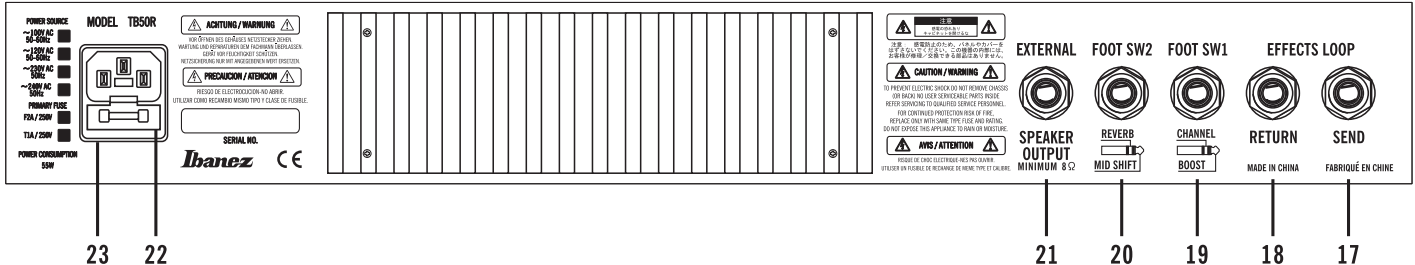


Names and functions for each part

FRONT PANEL



REAR PANEL



Contents

日本語 3
 ENGLISH 6
 DEUTSCH 9

FRANÇAIS 12
 ESPAÑOL 15
 ITALIANO 18

付属品

IFS2 デュアル・フット・スイッチ
電源ケーブル
取扱説明書
保証書

はじめに

この度は IBANEZ ギター・アンプ TB50R をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活用して頂くために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。また、本書は大切に保管してください。

フット・スイッチについて

本製品はフット・スイッチ IFS2 が一つ付属されていますが、アンプ本体にはフット・スイッチを使用できる機能が二ヶ所あります。FOOT SW1 または FOOT SW2 どちらかのジャックを選んでご使用ください。また、両方使用したい場合は、別売の IFS2 を販売店へ、オプションでお求めいただけます。また、お手持ちのラッチ式ステレオ・タイプのフット・スイッチもご使用できます。

特徴

TB50R のアンプ・ヘッド部は 50W の出力、スピーカー部には 12 インチ・サイズの強力な IBANEZ オリジナル・スピーカー POWER JAM を搭載し、最高の音質と使いやすさをお届けします。

プリアンプはクリーンとオーバードライブ・チャンネルを独立させ、オーバードライブ・チャンネルでは抜けが良くスムーズでパワフルなディストーション・サウンド、クリーン・チャンネルではしまった低域から美しく高域まで伸びるクリーン/クランチ・サウンドのまったく異なった二つのサウンドを可能にしています。また EQ には通常のパッシブ EQ よりも大きな可変幅を持つアクティブ EQ を採用し、幅広い音作りが可能で、さらにスプリング・リバーブが内蔵されていますのでサウンドに深みを与えることができます。

使用上のご注意

- 落下等の衝撃を与えたり、乱暴な取り扱いには避けて下さい。
- しっかり安定した場所に設置してください。設置の仕方、場所、会場等によって音色が異なって聞こえる場合があります。
- ご使用にならない時は、電源をオフにして保管してください。また、長期間ご使用にならない場合は、電源コンセントを抜いて保管してください。
- 直射日光の当る場所、極端な温度や湿度環境でのご使用、保管は避けてください。
- ギター・シールド・ケーブル、外部に接続されたエフェクター等のケーブルの接続、取り外しはボリュームを0にするか、電源スイッチを切ってから行ってください。プラグの抜き差しをする際のノイズは本製品に深刻なダメージを与える場合がありますので、ご注意ください。

各部の名称と機能

1. INPUT ジャック

標準 1/4" ジャックの入力端子です。エレクトリック・ギターからギター・シールド・ケーブルを用いて接続してください。

2. BOOST スイッチ

この BOOST スイッチはクリーン・チャンネルとオーバードライブ・チャンネルの両方に効果があり、BOOST スイッチを ON にすると、黄色の LED が点灯します。

- 1) クリーン・チャンネルの場合は、GAIN コントロールが低い設定のときは音量が上がりますが、GAIN コントロールが高い設定の場合には音量が上がると同時にナチュラルな歪みを発生します。VOLUME コントロールを同時に調整することで、好みの切り替えができるようになります。
- 2) オーバードライブ・チャンネルを使用している場合は、このスイッチを ON にすると音量レベルが上がります。

また、ラッチ式のフット・スイッチによっても切り替えができます。リア・パネルの FOOT SW1 端子にフット・スイッチが接続されている時はフット・スイッチが優先され、このスイッチは機能しなくなります。

3. GAIN コントロール

クリーン・チャンネルのゲインを調整できます。BOOST スイッチを ON にしたときにこのコントロールを上げていくとナチュラルに歪み始め、クランチ・サウンドが得られます。また、同時に音量も上がります。

4. BASS コントロール

低音域のイコライザーです。100Hzの帯域を±17dBのレベルまでブーストまたはカットができます。

5. MIDDLE コントロール

中音域のイコライザーです。1kHzの帯域を±12dBのレベルまでブーストまたはカットができます。

6. TREBLE コントロール

高音域のイコライザーで、シェルピング・タイプです。1.8kHz以上の帯域を±17dBのレベルまでブーストまたはカットできます。

7. VOLUME コントロール

クリーンチャンネルのレベルを調整します。

8. CHANNEL スイッチ

クリーン/オーバードライブのチャンネルを切替えるスイッチです。クリーン・チャンネルが選択されている時は緑色、オーバードライブ・チャンネルが選択されている時は赤色のインジケータが点灯します。リア・パネルのFOOT SW1端子に付属のフット・スイッチを接続し、フット・スイッチで切り替えを行うことができます。FOOT SW1端子にフット・スイッチが接続されている時はフット・スイッチが優先され、このスイッチは機能しなくなります。

9. GAIN コントロール

オーバードライブ・チャンネルのゲイン(オーバードライブの歪み量)を調整できます。このコントロールを下げると、歪みが少なく、粒立ちがよりはっきりとした音になり、上げていくとより歪み、同時にサステインが出て音量も上がります。

10. BASS コントロール

低音域のイコライザーです。100Hzの帯域を±12dBのレベルまでブーストまたはカットができます。

11. MIDDLE コントロール/MID SHIFT ブル・スイッチ

中音域のイコライザーで、-20dBのカットのみを行います。コントロールがブル・スイッチになっており、コントロールする帯域の中心周波数を1kHzと600Hzに切り替えることができます。また、FOOT SW2のジャックにフット・スイッチを接続すると、フット・スイッチで切り替えを行うことができます。また、FOOT SW2のジャックにフット・スイッチを接続すると、フット・スイッチが優先され、ブル・スイッチは効かなくなります。

12. TREBLE コントロール

高音域のイコライザーで、シェルピング・タイプです。1.8kHz以上の帯域を±12dBのレベルまでブーストまたはカットできます。

13. VOLUME コントロール

オーバードライブ・チャンネルのレベルを調節できます。ブースト・スイッチをオンにすると、音量レベルは約倍(6dB上がる)になります。

14. REVERB LEVEL コントロール

リバーブ効果のレベルを調節できます。また、付属のフット・スイッチをFOOT SW2ジャックに接続すると、フット・スイッチによってリバーブのオン/オフの切り替えができるようになります。(フット・スイッチ以外にリバーブのオン/オフの切り替えを行うスイッチは本体にはありません。)

15. HEADPHONES ジャック

1/4"ジャックのステレオ・ヘッドフォン出力ジャックです。ヘッドフォン使用時は内蔵スピーカーから音は出ません。

警告

ヘッドフォン出力は大きな音量を出力できます。ヘッドフォンを使用して演奏を始める際はまず、VOLUMEを絞り、ゆっくりとボリュームを上げて、音量を調節してください。大きな音量時でのプラグを抜き差しする時のノイズや歪んだ音声信号は、ヘッドフォンの故障の原因になるばかりでなく、使用者の聴覚を害する可能性がありますので十分にご注意の上、ご使用ください。

16. POWER スイッチ

電源のオン・オフを行うスイッチです。アンプをご使用にならない時にはオフにしておきましょう。

17. EFFECTS LOOP SEND ジャック

エフェクト・センド端子です。-10dB(EQを除く)の出力端子で、コンパクト・エフェクタを接続して使用することに適しています。エフェクターの入力端子に1/4"プラグを持ったシールド・ケーブルで接続してください。

18. EFFECTS LOOP RETURN ジャック

エフェクト・リターン端子です。-10dB(EQを除く)20kΩのインプット端子です。コンパクト・エフェクタを接続して使用することに適しています。エフェクターの出力端子に1/4"プラグのシールド・ケーブルで接続してください。

19. FOOT SW1 ジャック

付属のフット・スイッチを接続するとBOOSTスイッチのオン/オフとクリーン/オーバードライブのチャンネル切り替えがフット・スイッチにより可能になります。

20. FOOT SW2 ジャック

付属のフット・スイッチを接続すると、オーバードライブ・チャンネルのMIDDLEコントロールの周波数の切り替え(MID SHIFT)とリバーブのオン/オフがフット・スイッチにより可能になります。

**フット・スイッチはラッチ・タイプの2チャンネル・フット・スイッチを使用してください。本製品はフット・スイッチIFS2が一つ付属されていますが、アンプ本体にはフット・スイッチを使用できる機能が二ヶ所あります。

FOOT SW1 または FOOT SW2 どちらかのジャックを選んでご使用ください。また、両方使用したい場合は、別売の IFS2 を販売店へお求めください。また、お手持ちのラッチ式ステレオ・タイプのフット・スイッチもご使用できます。

21. EXTERNAL SPEAKER OUTPUT ジャック

1/4" モノラル・プラグのスピーカー・ケーブルで他のスピーカー・キャビネットに接続してください。この時 TB50R のキャビネットに装着されたスピーカーから音が出なくなります。

TB50R は 16Ω ~ 8Ω のスピーカー・キャビネットに接続して使用することができます。

ご注意

接続するスピーカー・システムのインピーダンスが 8 Ω 以下にならないようにしてください。アンプに過大な負荷がかかってしまい、故障の原因になります。

また、接続するスピーカー・システムの許容入力にもご注意ください。

TB50R の出力は接続するスピーカーのインピーダンスにより、次のようになります。

16 Ω 接続時: 25W 8 Ω 接続時: 50W

上記を参考に、スピーカー・システムの安全のため TB50R の出力に対し、許容入力が十分余裕のあるスピーカー・システムをご使用することをおすすめします。

22. FUSE ホルダー

ヒューズが切れた場合、内部に重大な故障が発生している可能性が有りますのでヒューズを交換する前に販売店に御相談下さい。

23. AC IN

付属の AC ケーブルを接続する端子です。パネルに表示してある入力電圧以外の電圧では絶対使用しないで下さい。

故障かな？と思ったら

1. 電源が入らない。

- ・電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・他のコンセントに接続しても電源が入りませんか？

2. 電源は入るが、音が出ない。

- ・ギターは正しく接続されていますか？
- ・ギターとアンプ間のエフェクター、エフェクト・ループに接続した外部機器を外しても音が出ませんか？
- ・シールド・ケーブルを変えても音が出ませんか？

- ・ギターのボリュームが 0 になっていませんか？
- ・他のギターを使っても音が出ませんか？
- ・アンプのボリュームが 0 になっていませんか？
- ・ヘッドフォンが接続されていませんか？

3. ノイズが出る。

- ・周辺のもの共共振して震えたり、ぶつかったりして音を出していませんか？
- ・シールド・ケーブルのプラグカバーがゆるんでいませんか？
- ・他のギター、エフェクター等の外部機器、ケーブルを使用してもノイズがでますか？

4. ブースト・スイッチ / チャンネル・スイッチ / MID SHIFT スイッチが切り替わらない。

- ・フット・スイッチ・ジャックにフット・スイッチ、またはケーブルが接続されていませんか？

5. フット・スイッチでチャンネルが切り替わらない。

- ・正しくフット・スイッチが接続されていますか？

6. ヘッドフォンから音が出ない。

- ・ヘッドフォンは正しく接続されていますか？
- ・他のヘッドフォンを使用しても、音が出ませんか？

7. EXTERNAL SPEAKER に接続したスピーカーから音が出ない。

- ・ヘッド・フォンが接続されていませんか？

故障等の場合

この製品は、厳重に検査を終えた上で出荷されております。故障かな？と思ったら、お手数ですが上記の項目をぜひご確認ください。万一使用中に異常が発生した場合は、お買い上げになった販売店にお尋ねください。また、修理をご依頼の際は、すみやかに修理を行なえるよう、症状を詳しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。

製品の仕様は品質向上のため予告なく変更する場合があります。

Included Accessories

IFS2 Dual Footswitch
Power Cable
Owner's Manual

Foreword

Thank you for purchasing the Ibanez TB50R guitar amplifier. Read this manual thoroughly prior to using your amplifier in order to get the most out of the functions available. Then keep the manual in a safe place.

About Footswitches

The TB50R amplifier provides two footswitch jacks, and comes with one IFS2 dual footswitch included. If using only one footswitch, you can connect it to either jack (FOOT SW1 or FOOT SW2). If you wish to use two footswitches together, you may purchase another IFS2 footswitch from your dealer, or you may connect up a latch-type stereo footswitch.

Features

The TB50R amplifier head provides 50 W of output and is mounted with a powerful 12-inch Ibanez original Power Jam speaker to provide high-quality sound and easy operation.

The pre-amp is equipped with independent clean and overdrive channels that produce two completely different types of sound. The clean channel provides a clean, crunchy sound through all registers from low to high. The overdrive channel provides a piercing, smooth and powerful distortion sound. It is also fitted with an active EQ that provides a larger variable width than the normal passive EQ function to produce a much wider sound. It is also equipped with built-in spring reverberation functions to add depth to the sound.

Precautions during use

- Do not subject the amplifier to shocks by dropping, etc., or treat it roughly in any way.
- Place the amplifier carefully in a stable position. The sound from the amplifier will vary depending on how and where it is set up.
- Ensure that the power supply has been switched off when not in use. Also, remove the power cord from the power supply socket when the amplifier is not to be used for an extended period of time.
- Do not use or store the amplifier in locations where it is subject to direct sunlight or in environments that experience extreme temperatures and humidity levels.
- Reduce the volume to '0' or switch off the power supply when connecting the guitar shielded cable and the effects or other cables required for external connection. Note that the noise generated when plugs are inserted and removed may cause severe damage to the equipment.

Names and functions for each part

1. INPUT jack

The input terminal for standard 1/4" jacks. Make the connection from the electric guitar with a shielded cable intended for guitars.

2. BOOST switch

The boost switch works with both the clean channel and the overdrive channel. When the switch is turned on, the yellow indicator lamp lights up.

- 1) When the BOOST switch is used with the clean channel and the GAIN control is set low, the volume increases. When the GAIN control is set high, as the volume increases a natural distortion is produced. By adjusting the VOLUME control at the same time, you can set the switching to your preference.
- 2) With the overdrive channel, when the BOOST switch is turned on, the volume level increases. The switch can also be operated using a latch-type foot switch. When a foot switch is plugged into the FOOT SW1 jack on the back panel, it overrides the BOOST switch.

3. GAIN control

This adjusts the clean channel gain level. When the BOOST switch is on, turning up the GAIN control produces a natural distortion and a crunchy sound is obtained. At the same time, the sound volume increases.

4. BASS control

The low-range sound area equalizer. It is possible to boost or cut the 100 Hz band by ± 17 dB.

5. MIDDLE control

The mid-range sound area equalizer. It is possible to boost or cut the 1 kHz band by ± 12 dB.

6. TREBLE control

A shelving-type equalizer for the high-range sound area. It is possible to boost or cut the band of 1.8 kHz or higher by ± 17 dB.

7. VOLUME control

This adjusts the volume level for the clean channel.

8. CHANNEL switch

This switches between the clean channel and the overdrive channel. The green LED indicator lights up when the clean channel is selected, and the red one lights up when the overdrive channel is selected.

As an alternative to the CHANNEL switch, you can use a footswitch connected to the FOOT SW1 jack to switch the channels. (Connecting the footswitch to FOOT SW1 disables the CHANNEL switch.)

9. GAIN control

It is possible to adjust the gain when using the overdrive channel (level of overdrive distortion.) The amount of distortion will be reduced to produce a clear and individual sound when the control is lowered. As it is raised, the amount of distortion increases, as does the sustain level.

10. BASS control

The low-range sound area equalizer. It is possible to boost or cut the 100 Hz band by ± 12 dB.

11. MIDDLE control & MID SHIFT pull switch

Controls the mid-band equalizer. The MIDDLE control cuts the center level by up to -20 dB. The pull switch sets the band's center frequency to either 1 kHz or 600 Hz, so that you can change the setting on the fly. As an alternative to the pull switch, you can use a footswitch connected to the FOOT SW2 jack to change the frequency. (The pull switch is disabled if a footswitch is connected to FOOT SW2.)

12. TREBLE control

A shelving-type equalizer for the high-range sound area. It is possible to boost or cut the band of 1.8 kHz or higher by ± 12 dB.

13. VOLUME control

Adjusts the volume of the overdrive channel. (Note that setting the BOOST switch

to ON will boost the volume by 6 dB, approximately doubling it.)

14. REVERB LEVEL control

Adjusts the reverb level. Note that if you connect the IFS2 footswitch to the FOOT SW2 jack, you can use it to toggle the reverb effect ON and OFF. (This REVERB On/Off toggle feature is available only with the footswitch. There is no corresponding switch on the main panel.)

15. HEADPHONES jack

This is a 1/4" output jack for stereo headphones. The sound is not reproduced through the built-in speakers when headphones are in use.

Warning

The headphone output produces a large volume of sound. Ensure that the volume has been turned down before beginning to play using the headphones, and then slowly increase the volume until it has reached the desired level. Note that the noise and distorted sound signals produced when inserting or removing the plug at high volume levels will not only result in damage to the headphones, it may also result in damage to the user's hearing.

16. POWER switch

The switch to turn the power supply on and off. Ensure that this switch is set at OFF when the amplifier is not in use.

17. EFFECTS LOOP SEND jack

Use this jack when connecting the amplifier to compact effects units. The jack outputs at -10 dB (not counting EQ). Connect to the input jack on the effects unit, using a shielded cable with 1/4" plugs.

18. EFFECTS LOOP RETURN jack

Use this jack when connecting the amplifier to compact effects units. This is a 20 k Ω input jack designed for -10 dB input (not counting EQ). Connect to the output jack on the effects unit, using a shielded cable with 1/4" plugs.

19. FOOT SW1 jack

When connected to this jack, the IFS2 footswitch operates as a BOOST on/off switch and a clean/overdrive channel switch.

20. FOOT SW2 jack

When connected to this jack, the IFS2 footswitch acts as a reverb on/off switch and as the Mid Shift switch (middle frequency switch) for the overdrive channel.

**Use a latch-type two-channel foot switch. The TB50R amplifier provides two footswitch jacks, and comes with one IFS2 dual footswitch included. If using only one footswitch, you can connect it to either jack (FOOT SW1 or FOOT SW2). If you wish to use two footswitches together, you may purchase another IFS2 footswitch from your dealer, or you may connect up a latch-type stereo footswitch.

21. EXTERNAL SPEAKER OUTPUT jack

This is for connecting to another speaker cabinet using speaker cable with a 1/4" monaural plug. In this case, the sound is not reproduced from the speaker in the TB50R cabinet. The TB50R can be connected to speaker cabinets with impedances from 16 Ω to 8 Ω .

NOTES:

Do not allow the impedance of the speaker system you are connecting to fall below 8 Ω , otherwise, the load on the amp will be excessive and damage may result. Also, take note of the allowable input of the speaker system to be connected.

The TB50 output power varies according to the connected speaker impedance as follows.

16 Ω : 25 W 8 Ω : 50 W

To ensure the safety of your system, please refer to above figures and be certain that your speaker system has more than enough capacity to handle this output.

22. FUSE holder

When a fuse is blown, there may be major damage to the internal circuitry. Before changing fuses consult your dealer.

23. AC IN

This socket is for the AC cable (included). DO NOT use any input voltage other than indicated on the panel.

Troubleshooting

1. The power supply cannot be switched on.

- Check that the power cable has been connected correctly.
- Try plugging it into a different socket and see if the same problem occurs.

2. The power supply can be switched on, but no sound is heard.

- Check that the guitar has been connected correctly.
- Remove any external components connected to the effects loop and between the guitar and the amplifier and check to see if any sound is heard.
- Use a different shielded cable and check to see if any sound is heard.
- Check to see if the volume on the guitar is set to "0".
- Use a different guitar and see if any sound is heard.

- Check to see if the volume on the amplifier is set to "0".
- Check to see if the headphones are connected.

3. Noise is heard.

- Check to see if anything in the immediate vicinity is resonating or banging against the amplifier to produce the noise.
- Check to see if the plug cover on the shielded cable is loose.
- Use another guitar, effects or other external components, and cable to see if the same noise is produced.

4. BOOST switch, channel switch, or MID SHIFT switch does not function.

- These panel switches are disabled if a footswitch or cable is connected to the corresponding footswitch jack.

5. It is not possible to switch between channels with the foot switch

- Check that the foot switch jack is connected correctly.

6. No sound is produced in the headphones

- Check that the headphones are connected correctly.
- Connect another set of headphones and see if sound is produced.

7. No sound from speaker connected to the EXTERNAL SPEAKER jack.

- Check to see if the headphones are connected.

In case of defects

This product has passed exhaustive inspections before being shipped from the factory. Ensure that the above procedures are carried out when a problem is thought to exist. Contact your dealer in the unlikely event that an abnormality occurs during use. Also, ensure that the symptoms of the problem are explained in detail when requesting repair in order to facilitate swift handling.

Because of improvements to this product, the specifications may change without notice.

Lieferumfang

IFS2 Stereo-Fußtaster
Netzka-
bel
Bedienungsanleitung

Vorwort

Herzlichen Glückwunsch zu Ihrem neuen Gitarrenverstärker TB50R von Ibanez. Bitte lesen Sie diese Anleitung für eine optimale Nutzung aller Funktionen vor der Inbetriebnahme des Verstärkers aufmerksam durch. Bewahren Sie die Anleitung dann für späteres Nachschlagen an einem sicheren Platz auf.

Über die Fußtaster

Der TB50R Verstärker ist mit zwei Fußtasterbuchsen ausgestattet. Außerdem liegt ein Stereo-Fußtaster IFS2 bei. Wenn Sie nur einen Fußtaster benötigen, können Sie den beiliegenden IFS2 entweder an die FOOT SW1- oder an die FOOT SW2-Buchse anschließen. Wenn Sie mehrere Fußtaster benötigen, sollten Sie sich bei Ihrem Händler nach einem weiteren IFS2 erkundigen, oder aber einen schaltenden Stereo-Fußtaster verwenden.

Merkmale

Der TB50R liefert 50 W Ausgangsleistung, ist mit starken 12-Zoll "Power Jam" Originallautsprechern von Ibanez ausgestattet, bietet hohe Klangqualität und leichte Bedienung.

Der Vorverstärker verfügt über zwei getrennte Kanäle, die zwei völlig unterschiedliche Klangtypen erzeugen. Der Clean-Kanal liefert sowohl im tiefen, als auch im hohen Frequenzbereich einen sauberen, aber kernigen und vor allem ausgewogenen Sound. Der Overdrive-Kanal erzeugt alles, was sich zwischen beißender, druckvoller oder leichter Verzerrung befindet. Darüber hinaus verfügt der Verstärker über eine aktive Klangregelung, die im Vergleich zu normalen Passiv-Equalizern eine wesentlich höhere Bandbreite und somit ein deutlich erweitertes Klangspektrum bietet. Außerdem wartet der TB50R mit einem Federhaff auf, mit denen Sie dem Klang mehr Tiefe verleihen können.

Vorsichtsmaßregeln für den Betrieb

- Den Verstärker vor starken Stößen bewahren, nicht auf den Boden fallen lassen usw.
- Den Verstärker auf festen Untergrund stellen. Der Sound des Verstärkers ist vom Aufstellungsort abhängig.
- Die Stromversorgung ausschalten, wenn der Verstärker nicht benützt wird. Bei längerer Nichtverwendung den Netzstecker ziehen.
- Den Verstärker nicht an Orten lagern oder betreiben, an denen das Gerät direkter Sonnenbestrahlung oder extremen Temperatur- und Luftfeuchtigkeitsschwankungen ausgesetzt ist.
- Vor dem Anschluss der geschirmten Kabel für E-Gitarre und Effektgeräte bzw. sonstiger externer Anschlusskabel die Lautstärke auf "0" stellen oder den Verstärker ausschalten. Andernfalls kann das laute Brummen beim Anschließen und Abziehen der Stecker ernsthafte Schäden am Verstärker verursachen.

Bezeichnung und Funktion der Teile

1. Eingangsbuchse (INPUT)

Diese Buchse dient zum Anschließen von 1/4"-Zoll-Klinken. Die E-Gitarre mit einem geschirmten Gitarrenkabel an diese Buchse anschließen.

2. BOOST-Schalter

Der BOOST-Schalter ist sowohl für den Clean- als auch den Overdrive-Kanal belegt. Wenn Sie ihn aktivieren, leuchtet die gelbe Diode.

- 1) Wenn Sie den BOOST-Schalter bei Verwendung des Clean-Kanals aktivieren, während der GAIN-Regler auf einen niedrigen Wert gestellt wurde, steigt der Pegel an. Bei hoher GAIN-Einstellung tritt hingegen eine natürliche Verzerrung auf, weil der Pegel ebenfalls ansteigt. Mit dem VOLUME-Regler können Sie die gewünschte Wiedergabelautstärke einstellen.
- 2) Wenn sie den BOOST-Schalter bei Verwendung des Overdrive-Kanals aktivieren, steigt der Pegel an. Dies BOOST-Funktion kann auch mit einem schaltenden Fußtaster ("Latch") aktiviert und ausgeschaltet werden. Wenn Sie einen Fußtaster an die FOOT SW1-Buchse auf der Rückseite anschließen, hat dieser Vorrang vor dem BOOST-Schalter.

3. GAIN-Regler

Hiermit kann die Anhebung des Clean-Kanals eingestellt werden. Wenn der BOOST-Schalter aktiv ist, können Sie mit dem GAIN-Regler die Übersteuerung bestimmen und also einen "knackigen Bratsound" erzielen. Dabei wird allerdings auch die Lautstärke erhöht.

4. Bassregler (BASS)

Dieser Regler dient zum Einstellen des tiefen Frequenzbereichs. Die 100 Hz-Frequenz kann um ± 17 dB angehoben oder gesenkt werden.

5. Mittenregler (MIDDLE)

Dieser Regler dient zum Einstellen des Mittenbereichs. Die 1 kHz-Frequenz kann um ± 12 dB angehoben oder gesenkt werden.

6. Höhenregler (TREBLE)

Dieser Regler dient zum Einstellen des hohen Frequenzbereichs. Das Frequenzband ab 1,8 kHz aufwärts kann um ± 17 dB angehoben oder gesenkt werden.

7. VOLUME-Regler

Hiermit kann die Lautstärke des Clean-Kanals eingestellt werden.

8. CHANNEL-Schalter

Hiermit können Sie vom (nicht verzerrten) Clean- zum (verzerrten) Overdrive-Kanal und umgekehrt wechseln. Wenn die grüne Diode leuchtet, ist der Clean-Kanal gewählt. Die rote Diode bedeutet, dass der Overdrive-Kanal gewählt ist. Statt der CHANNEL-Taste können Sie die Kanäle auch mit einem an die FOOT SW1-Buchse angeschlossenen Fußtaster umschalten. (Wenn Sie einen Fußtaster an FOOT SW1 anschließen, ist die CHANNEL-Taste nicht mehr belegt.)

9. GAIN-Regler

Die Vorverstärkeranhebung (Gain) des Overdrive-Kanals ist einstellbar (damit bestimmen Sie den Verzerrungsgrad). Je geringer der hiermit eingestellte Wert, desto "sauberer" klingt das Signal. Größere Werte bedeuten, dass der Klang immer stärker verzerrt, wobei auch das Sustain verlängert wird.

10. Bassregler (BASS)

Dieser Regler dient zum Einstellen des tiefen Frequenzbereichs. Die 100 Hz-Frequenz kann um ± 12 dB angehoben oder gesenkt werden.

11. MIDDLE-Regler & MID SHIFT-Ziehschalter

Hiermit stellen Sie das Mittenband der Klangregelung ein. Mit dem MIDDLE-Regler kann die Eckfrequenz um bis zu -20 dB abgesenkt werden. Der Ziehschalter erlaubt das Umschalten der Eckfrequenz von 1 kHz zu 600 Hz und umgekehrt, so dass Sie mühelos den benötigten Sound erzielen dürften. Statt des Ziehschalters kann auch ein Fußtaster verwendet werden, den Sie zu diesem Zweck an die FOOT SW2-Buchse anschließen. (Bei Anschließen eines Fußtasters an die FOOT SW2-Buchse wird der Ziehschalter deaktiviert.)

12. Höhenregler (TREBLE)

Dieser Regler dient zum Einstellen des hohen Frequenzbereichs. Das Frequenzband ab 1,8 kHz aufwärts kann um ± 12 dB angehoben oder gesenkt werden.

13. VOLUME-Regler

Hiermit kann die Lautstärke des Overdrive-Kanals geregelt werden. (Bedenken Sie, dass die Lautstärke bei AKTIVIEREN des BOOST-Schalters um 6 dB erhöht wird und sich somit nahezu verdoppelt.)

14. REVERB LEVEL-Regler

Hiermit kann die Lautstärke des Halleffekts eingestellt werden. Mit einem an die FOOT SW2-Buchse angeschlossenen IFS2 Fußtaster lässt sich der Halleffekt abwechselnd ein- und ausschalten. (Diese Schaltfunktion für den REVERB-Effekt ist nur bei Verwendung eines Fußtasters belegt. Auf der Frontseite gibt es keinen vergleichbaren Schalter.)

15. Kopfhörerbuchse (HEADPHONES)

Diese 1/4"-Zoll-Ausgangsbuchse dient zum Anschließen eines Stereo-Kopfhörers. Wenn Sie das tun, werden die Lautsprecher ausgeschaltet.

Warnung

Das an der Kopfhörerbuchse anliegende Signal kann u.U. extrem laut sein. Am besten stellen Sie den MASTER-Regler vor Anschließen eines Kopfhörers auf einen relativ kleinen Wert und erhöhen die Lautstärke dann allmählich. Andernfalls kann das laute Brummen beim Anschließen und Abziehen des Steckers nicht nur den Kopfhörer beschädigen, sondern auch ernsthafte Gehörschäden verursachen.

16. Netzschalter (POWER)

Dieser Schalter dient zum Ein- und Ausschalten der Netzversorgung. Darauf achten, dass dieser Schalter auf "OFF" gestellt ist, wenn der Verstärker nicht verwendet wird.

17. EFFECTS LOOP SEND-Buchse

Über diese Buchse können Kompakt-Effekte mit dem Verstärker verbunden werden. Der Ausgangspegel dieser Buchse lautet -10 dB (bei Nichtverwendung der Klangregelung). Verbinden Sie diese Buchse über ein geschirmtes 1/4"-Klinkenkabel mit dem Eingang des externen Effektgeräts.

18. EFFECTS LOOP RETURN-Buchse

Diese Buchse dient für die Rückführung des Effektsignals zum Verstärker. Hierbei handelt es sich um einen 20 k Ω -Eingang für Signale mit einem Pegel von -10 dB (ohne Klangregelung). Verbinden Sie diese Buchse über ein geschirmtes 1/4"-Klinkenkabel mit dem Ausgang des externen Effektgeräts.

19. FOOT SW1-Buchse

Wenn Sie den beiliegenden IFS2 Fußtaster an diese Buchse anschließen, fungiert er als BOOST-An/Aus-Schalter sowie zum Umschalten zwischen dem "Clean" und dem "Overdrive"-Kanal.

20. FOOT SW2-Buchse

Wenn Sie den beiliegenden IFS2 Fußtaster an diese Buchse anschließen, dient er zum Ein-/Ausschalten des Halleffekts und zum Umschalten der MID SHIFT-Frequenz (Anwahl der Mitten-Eckfrequenz) für den "Overdrive"-Kanal.

**Verwenden Sie einen schaltenden Zweikanal-Fußtaster. Der TB50R Verstärker ist mit zwei Fußtasterbuchsen ausgestattet. Außerdem liegt ein Stereo-Fußtaster IFS2 bei. Wenn Sie nur einen Fußtaster benötigen, können Sie den beiliegenden IFS2 entweder an die FOOT SW1- oder an die FOOT SW2-Buchse anschließen. Wenn Sie mehrere Fußtaster benötigen, sollten Sie sich bei Ihrem

Händler nach einem weiteren IFS2 erkundigen, oder aber einen schaltenden Stereo-Fußtaster verwenden.

21. EXTERNAL SPEAKER OUTPUT-Buchse

Hier kann eine externe Box angeschlossen werden. Verwenden Sie hierfür ein Lautsprecherkabel mit 1/4" Mono-Klinke. Hierdurch wird der interne Lautsprecher TB50R allerdings ausgeschaltet. An den TB50R kann man Boxen mit einer Impedanz von 16 Ω bis 8 Ω anschließen.

ACHTUNG:

Die Impedanz der hier angeschlossenen Box(en) darf niemals weniger als 8 Ω betragen, sonst wäre die Verstärkerlast zu groß, was zu schweren Schäden führen kann.

Beachten Sie außerdem die Anforderungen für das an die Boxen angelegte Signal. Die Ausgangsleistung des TB50 richtet sich wie folgt nach der Impedanz der angeschlossenen Lautsprecherboxen:

16 Ω : 25 W 8 Ω : 50 W

Im Sinne einer optimalen Sicherheit sollten Sie sich bei der Wahl der Lautsprecher an den obigen Werten orientieren. Stellen Sie sicher, dass die Kapazität der Lautsprecher für die angegebene Leistung ausreicht.

22. Sicherungshalter (FUSE)

Wenn eine Sicherung durchbrennt, weist dies auf einen ernsten internen Schaden hin. Erkundigen Sie sich also vor Auswechseln der Sicherung bei Ihrem Händler nach der möglichen Ursache.

23. Netzkabelbuchse (AC IN)

An diese Buchse muss das beiliegende Netzkabel angeschlossen werden. Schließen Sie den Verstärker AUSSCHLIESSLICH an eine Steckdose an, die den Angaben auf dem Typenschild entspricht.

Fehlersuche

1. Die Netzversorgung läßt sich nicht einschalten.

- Prüfen, ob das Netzkabel korrekt angeschlossen ist.
- Den Netzstecker an eine andere Steckdose anschließen, um zu prüfen, ob hier das gleiche Problem auftritt.

2. Die Netzversorgung ist eingeschaltet, aber es wird kein Klang erzeugt.

- Prüfen, ob die Gitarre korrekt angeschlossen ist.
- Die eingeschleiften Effektgeräte bzw. die Effekte zwischen dem Instrument und dem Verstärker entfernen und prüfen, ob Sie dann etwas hören.
- Ein anderes geschirmtes Kabel verwenden und prüfen, ob Sie dann etwas hören.

- Nachschauen, ob der Lautstärkereglern der Gitarre auf "0" gestellt ist.
- Versuchsweise eine andere Gitarre verwenden und prüfen, ob damit Klang erzeugt wird.
- Prüfen, ob der Lautstärkereglern des Verstärkers auf "0" gestellt ist.
- Nachschauen, ob ein Kopfhörer angeschlossen ist.

3. Es treten Rauschstörungen auf.

- Prüfen, ob ein Gegenstand in der näheren Umgebung Resonanz erzeugt oder gegen den Verstärker schlägt.
- Prüfen, ob der Plastikmantel des Instrumentenkabels locker ist.
- Gitarre, Effektgerät, andere Geräte und Kabel versuchsweise austauschen und prüfen, ob die Rauschstörungen danach verschwinden.

4. Der BOOST-, Kanalwahl- oder MID SHIFT-Schalter funktioniert nicht.

- Diese frontseitigen Schalter werden deaktiviert, wenn Sie einen Fußtaster oder auch nur eine Klinke an die betreffende "FOOT SW"-Buchse anschließen.

5. Das Umschalten zwischen den Kanälen mit dem Fußschalter ist nicht möglich.

- Sicherstellen, dass der Fußtaster korrekt angeschlossen ist.

6. Bei Kopfhöreranschluss wird kein Klang erzeugt.

- Prüfen, ob der Kopfhörer korrekt angeschlossen ist.
- Versuchsweise einen anderen Kopfhörer anschließen und prüfen, ob Sie etwas hören.

7. Der an die EXTERNAL SPEAKER-Buchse angeschlossene Lautsprecher gibt kein Signal aus.

- Nachschauen, ob ein Kopfhörer angeschlossen ist.

Im Falle von Defekten

Der Verstärker wurde im Rahmen der Qualitätskontrolle vor dem Versand gründlich überprüft. Bei eventuellen Problemen den Verstärker deshalb zuerst mit Hilfe der obigen Punkte überprüfen. Sollten während des Betriebs Störungen auftreten, wenden Sie sich bitte an Ihren Fachhändler. Erklären Sie das Problem bei notwendigen Reparaturen bitte möglichst genau, damit sich die Ursache so schnell wie möglich finden läßt.

Änderungen der technischen Daten im Hinblick auf Produktverbesserungen ohne Vorankündigung jederzeit vorbehalten.

Accessoires inclus

Double commutateur au pied IFS2
Cordon d'alimentation
Mode d'emploi

Avant-propos

Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'amplificateur pour guitare Ibanez TB50R. Veuillez lire attentivement ce mode d'emploi avant d'utiliser votre ampli afin de pouvoir tirer le meilleur parti de ses nombreuses caractéristiques. Conservez précieusement ce mode d'emploi, car il pourra vous être utile lors de références ultérieures.

Commutateurs au pied

L'amplificateur TB50R est pourvu de deux prises pour commutateurs au pied et est fourni avec un double commutateur au pied IFS2. Si vous n'utilisez qu'un seul commutateur au pied, vous pouvez le brancher à la prise de votre choix (FOOT SW1 ou FOOT SW2). Si vous souhaitez utiliser deux commutateurs au pied simultanément, vous pouvez acquérir un autre commutateur IFS2 auprès de votre revendeur ou vous pouvez brancher un commutateur au pied stéréo de type allumé/éteint.

Caractéristiques

L'amplificateur pour guitare TB50R délivre un signal d'une puissance maximum de 50 W. Cet ampli, d'une utilisation hyper-facile, est équipé de haut-parleurs Power Jam Ibanez de 12 pouces offrant un son d'enfer. Le préampli est équipé d'un canal d'overdrive et d'un canal de son clair (clean) indépendants, mettant ainsi deux types de son complètement différents à votre disposition. Le canal d'overdrive produit un son de distorsion perçant, puissant et bien poli, tandis que le canal clean délivre un son clair et "crunchy" sur toute la plage, des basses fréquences aux hautes fréquences. L'amplificateur propose un égaliseur actif offrant une plage de réglage plus vaste que celle d'un égaliseur passif ordinaire, ce qui vous permet une plus grande expressivité acoustique. Le TB50R possède également un effet de qu'un effet de réverbération à ressorts intégrés, la clé pour obtenir un son ample et chaud.

Précautions durant l'utilisation

- Des chocs violents risquent d'endommager l'amplificateur. Veuillez le manipuler avec soin et ne pas le laisser tomber.
- Installez l'amplificateur en veillant à ce qu'il soit sur une surface bien stable. Le son de l'amplificateur change en fonction de l'emplacement choisi et de la position dans laquelle vous l'installez.
- Pensez bien à couper l'alimentation lorsque vous ne vous servez pas de l'amplificateur. Par ailleurs, débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur si vous ne prévoyez pas d'utiliser l'ampli pendant un certain temps.
- Veillez à ne pas utiliser ni ranger l'ampli dans un endroit en plein soleil ou soumis à des températures extrêmes ou encore à un niveau d'humidité trop élevé.
- Réduisez le volume à "0" ou coupez l'alimentation lorsque vous raccordez le câble blindé d'une guitare et les effets ou les autres câbles nécessaires aux connexions externes. Notez que le bruit engendré lors du branchement ou du débranchement des fiches risque de gravement endommager l'amplificateur.

Noms et fonctions des diverses parties

1. Prise INPUT

Prise d'entrée des fiches standard de 1/4". Connectez votre guitare électrique à cette prise à l'aide d'un câble blindé pour guitare.

2. Commutateur BOOST

Le commutateur BOOST agit tant sur le canal Clean que sur le canal Overdrive. Quand vous activez ce commutateur, la diode jaune s'allume.

- 1) Lorsque vous activez le commutateur BOOST alors que le canal Clean est sélectionné et que la commande GAIN est réglée sur une valeur basse, le volume augmente. En revanche, quand la commande GAIN est tournée sur une valeur plus élevée, l'augmentation de volume est accompagnée d'une saturation naturelle. Vous pouvez régler le volume au niveau souhaité avec la commande VOLUME.
- 2) Quand vous activez le commutateur BOOST alors que le canal Overdrive est sélectionné, le niveau augmente. Vous pouvez aussi activer et couper la fonction BOOST avec un commutateur au pied (de type "allumé/éteint"). Si vous connectez un commutateur au pied à la prise FOOT SW1 située en face arrière, ce commutateur a priorité sur le commutateur BOOST.

3. Commande GAIN

Cette commande règle le niveau de gain du canal clean. Lorsque le commutateur BOOST est activé, vous pouvez produire une distorsion naturelle et un son

plus musclé en augmentant le niveau de la commande GAIN. Le volume augmente alors également.

4. Commande BASS

Il s'agit de l'égaliseur de la plage des graves. Cette commande permet d'accentuer ou d'atténuer la bande de 100 Hz de ± 17 dB.

5. Commande MIDDLE

Il s'agit de l'égaliseur de la plage des médiums. Cette commande permet d'accentuer ou d'atténuer la bande de 1 kHz de ± 12 dB.

6. Commande TREBLE

Il s'agit de l'égaliseur en plateau de la plage des aigus. Cette commande permet d'accentuer ou d'atténuer la bande de 1,8 kHz ou supérieure de ± 17 dB.

7. Commande VOLUME

Cette commande permet de régler le niveau de volume du canal clean.

8. Commutateur CHANNEL

Ce commutateur permet de passer alternativement du canal d'overdrive au canal clean. La diode verte s'allume lorsque vous activez le canal clean, tandis que la diode rouge s'allume pour vous indiquer que le canal d'overdrive est activé.

Au lieu du bouton CHANNEL, vous pourriez aussi utiliser un commutateur au pied relié à la prise FOOT SW1 pour changer de canal. (A la connexion d'un commutateur au pied à la prise FOOT SW1, le bouton CHANNEL est désactivé.)

9. Commande GAIN

Cette commande permet de régler le niveau du canal d'overdrive. Pour obtenir un son moins saturé, réduisez le niveau de distorsion avec cette commande. Plus vous augmentez le niveau du canal d'overdrive, plus le niveau de maintien (sustain) augmente.

10. Commande BASS

Il s'agit de l'égaliseur de la plage des graves. Cette commande permet d'accentuer ou d'atténuer la bande de 100 Hz de ± 12 dB.

11. Commande MIDDLE & commutateur manuel MID SHIFT

Contrôle l'égaliseur de la bande des médiums. La commande MIDDLE atténue le niveau central sur une plage pouvant aller jusqu'à -20 dB. Le commutateur permet de changer la fréquence centrale de la bande médium instantanément, et de la fixer entre 1 kHz et 600 Hz. Au lieu d'utiliser ce commutateur, vous pouvez changer la fréquence centrale avec un commutateur au pied branché à la prise FOOT SW2. (Le commutateur manuel est désactivé lorsqu'un commutateur au pied est branché à la prise FOOT SW2.)

12. Commande TREBLE

Il s'agit de l'égaliseur en plateau de la plage des aigus. Cette commande permet d'accentuer ou d'atténuer la bande de 1,8 kHz ou supérieure de ± 12 dB.

13. Commande VOLUME

Règle le volume du canal Overdrive. (Notez que si vous placez le commutateur BOOST sur ON, le volume sera accentué de 6 dB, soit pratiquement doublé.)

14. Commande REVERB LEVEL

Règle le niveau de réverbération. Notez que si vous branchez le commutateur au pied IFS2 à la prise FOOT SW2, vous pouvez vous en servir pour activer/couper l'effet de réverbération. (Cette possibilité d'activer/couper la réverbération n'est disponible qu'avec le commutateur au pied. Il n'y a pas de commutateur correspondant en face avant).

15. Prise HEADPHONES

Cette prise de 1/4" permet de raccorder un casque d'écoute stéréo. Le son des haut-parleurs intégrés est coupé lorsque vous branchez un casque d'écoute à cette prise.

Avertissement

La sortie casque délivre un signal très puissant. Avant de jouer avec un casque d'écoute, veillez à diminuer le niveau de sortie avec la commande MASTER. Augmenter progressivement le volume de sorte à obtenir un niveau d'écoute confortable. Notez que lorsque le volume d'écoute est élevé, les bruits engendrés lors du branchement ou du débranchement des fiches risquent d'endommager non seulement le casque d'écoute, mais également votre ouïe.

16. Commutateur POWER

Ce commutateur sert à la mise sous tension et à la mise hors tension de l'amplificateur. Quand vous avez fini de jouer sur l'amplificateur, placez ce commutateur sur OFF.

17. Prise EFFECTS LOOP SEND

Servez-vous de cette prise pour relier l'amplificateur à des processeurs d'effets compacts. Il s'agit d'une prise de sortie -10 dB (sans compter l'égalisation). Branchez-la à l'entrée du processeur d'effet avec un câble blindé doté de fiches 1/4".

18. Prise EFFECTS LOOP RETURN

Servez-vous de cette prise pour relier l'amplificateur à des processeurs d'effets compacts. Il s'agit d'une prise d'entrée de 20 k Ω pour une entrée de -10 dB (sans compter l'égalisation). Branchez-la à la sortie du processeur d'effet avec un câble blindé doté de fiches 1/4".

19. Prise FOOT SW1

Lorsqu'il est branché à cette prise, le commutateur au pied IFS2 fait office de commutateur BOOST activé/coupé et de commutateur de canal clair/canal overdrive.

20. Prise FOOT SW2

Lorsqu'il est branché à cette prise, le commutateur au pied IFS2 fait office de commutateur de réverbération activée/coupée et de commutateur Mid Shift (changement de fréquence centrale) pour le canal Overdrive.

** Utilisez un commutateur au pied de type allumé/éteint à deux canaux. L'amplificateur TB50R est pourvu de deux prises pour commutateurs au pied et est fourni avec un double commutateur au pied IFS2. Si vous n'utilisez qu'un seul commutateur au pied, vous pouvez le brancher à la prise de votre choix (FOOT SW1 ou FOOT SW2). Si vous souhaitez utiliser deux commutateurs au pied simultanément, vous pouvez acquérir un autre commutateur IFS2 auprès de votre revendeur ou vous pouvez brancher un commutateur au pied stéréo de type allumé/éteint.

21. Prise EXTERNAL SPEAKER OUTPUT

Cette prise sert à brancher un haut-parleur externe à l'aide d'un câble pour haut-parleur doté de prises jack mono d'1/4". La connexion d'un haut-parleur à cette prise coupe automatiquement le son du haut-parleur du TB50R. Vous pouvez connecter le TB50R à des haut-parleurs d'une impédance comprise entre 8 Ω et 16 Ω.

REMARQUES:

Lors de la connexion de haut-parleurs externes, veillez à ce que l'impédance du système ne descende en aucun cas en dessous de 8 Ω. La charge excessive résultant de tels branchements risquerait d'endommager l'amplificateur. Tenez également compte de la tenue en puissance du haut-parleur que vous voulez connecter. La puissance de sortie du TB50 varie en fonction de l'impédance des hauts parleurs qui lui sont connectés:

16 Ω : 25 W 8 Ω : 50 W

Pour garantir la sûreté de votre système, assurez-vous, à l'aide des chiffres donnés ci-dessus, que votre système d'enceintes est en mesure de gérer cette puissance de sortie.

22. Compartiment FUSE

Un fusible grillé peut aussi indiquer un endommagement des circuits internes de l'amplificateur. Aussi, avant de remplacer un fusible, veuillez consulter votre revendeur.

23. Prise AC IN

Cette prise sert à connecter le cordon d'alimentation (fourni). Veillez à alimenter EXCLUSIVEMENT l'amplificateur avec la tension spécifiée sur le panneau.

Dépannage

1. Impossible de mettre l'amplificateur sous tension

- Vérifiez si le cordon d'alimentation est raccordé correctement.
- Essayez de le brancher à une autre prise secteur pour voir si le problème persiste.

2. L'amplificateur peut être mis sous tension mais ne produit aucun son.

- Vérifiez si la guitare est raccordée correctement.
- Débranchez tout effet externe connecté à la boucle d'effets ainsi qu'entre la guitare et l'ampli pour vérifier si la source du problème ne réside pas là.

- Utilisez un autre câble blindé pour voir si cela ne permet pas de résoudre le problème.
- Vérifiez si le volume de la guitare n'est pas réglé sur "0".
- Branchez une autre guitare pour voir si cela résout le problème.
- Vérifiez si le volume de l'amplificateur n'est pas réglé sur "0".
- Vérifiez si le casque d'écoute est raccordé.

3. Le son de l'ampli comporte du bruit.

- Vérifiez si l'amplificateur n'est pas installé à proximité d'une source de résonance ou si le bruit ne provient pas d'un objet heurtant l'ampli.
- Vérifiez si le manchon de la fiche du câble blindé n'est pas lâche.
- Utilisez une autre guitare, un autre effet ou appareil externe et un autre câble pour voir si cela ne permet pas d'éliminer le bruit.

4. Le commutateur BOOST, le commutateur de canaux ou le commutateur MID SHIFT ne fonctionne pas.

- Ces commutateurs en face avant sont désactivés si vous branchez un commutateur au pied, ou un câble, à la prise pour commutateur correspondante.

5. Impossible de changer de canal avec le commutateur au pied

- Vérifiez si le commutateur au pied est raccordé correctement.

6. Pas de son au casque d'écoute

- Vérifiez si le casque d'écoute est branché correctement.
- Raccordez un autre casque pour voir si le son est reproduit.

7. Le baffle connecté à la prise EXTERNAL SPEAKER ne reproduit aucun signal.

- Vérifiez si le casque d'écoute est raccordé.

En cas d'anomalie

Cet appareil a subi une inspection rigoureuse avant sa sortie d'usine. Si l'amplificateur vous semble présenter une anomalie, effectuez les opérations ci-dessus. Dans le cas peu probable où vous rencontreriez un problème pendant l'utilisation, consultez votre revendeur. Par ailleurs, lorsque vous envoyez l'amplificateur en réparation, veillez à décrire correctement tous les symptômes de la panne; cela permettra d'accélérer les travaux de réparation.

Nous nous réservons le droit de modifier les données techniques sans avis préalable en vue d'améliorer ce produit.

Accesorios que se incluyen

Interruptor de pie dual IFS2
Cable de alimentación
Manual del propietario

Prólogo

Gracias por adquirir el amplificador de guitarra Ibanez TB50R. Para sacarle el máximo partido a las funciones que ofrece este amplificador, antes de utilizarlo lea atentamente este manual. Seguidamente guarde el manual en un lugar seguro.

Interruptores de pie

El amplificador TB50R tiene dos tomas para interruptores de pie y viene con un interruptor de pie dual IFS2 incluido. Si va a utilizar solo un interruptor de pie, puede conectarlo a cualquier toma (INTERRUPTOR DE PIE1 o INTERRUPTOR DE PIE2). Si quiere utilizar los dos interruptores de pie al mismo tiempo, debe comprar otro interruptor de pie IFS2 a su distribuidor o puede conectar un interruptor de pie estéreo de tipo con retenida.

Características

El TB50R proporciona 50 W de salida y, con los potentes altavoces originales Ibanez Power Jam de 12 pulgadas integrados ofrece un sonido de gran calidad en un equipo fácil de utilizar.

El preamplificador está equipado con canal normal y canal sobreexcitado independientes que producen dos tipos de sonido completamente diferentes. El canal normal ofrece un sonido claro y brillante en toda la gama de graves a agudos. El canal sobreexcitado ofrece un sonido de distorsión penetrante, suave y potente. Está dotado de un ecualizador activo que proporciona un ancho variable mayor que el de la función de un ecualizador pasivo normal y produce un sonido mucho más amplio. Incorpora asimismo funciones de reverberación elástica para añadir profundidad al sonido.

Precauciones durante la utilización

- No exponga el amplificador a golpes por caídas, etc. ni lo trate de forma brusca.

- Instale el amplificador con cuidado en un lugar estable. El sonido del amplificador variará en función de la forma y el lugar donde esté instalado.
- Desconecte la alimentación cuando no lo utilice. Además, cuando no vaya a utilizarlo durante un periodo prolongado de tiempo, desenchufe el cable de alimentación de la toma de corriente.
- No utilice ni guarde el amplificador en lugares que estén expuestos a la luz directa del sol ni en ambientes expuestos a niveles extremos de temperatura y humedad.
- Reduzca el volumen a "0" o apague el amplificador cuando vaya a conectar el cable blindado de la guitarra y los efectos u otros cables necesarios para efectuar una conexión externa. Tenga en cuenta que el ruido generado al introducir y extraer las clavijas puede ocasionar graves daños al equipo.

Nombres y funciones de los componentes.

1. Toma de entrada (INPUT)

Terminal de entrada para clavijas de 1/4" de pulgada. Permite conectar una guitarra eléctrica con un cable blindado para guitarras.

2. Interruptor de amplificación (BOOST)

El interruptor de amplificación funciona con el canal limpio y con el canal sobreexcitado. Cuando se activa el interruptor, la luz del indicador amarillo se enciende.

- 1) Cuando se utiliza el interruptor de amplificación (BOOST) con el canal limpio y se disminuye el control de ganancia (GAIN), el volumen aumenta. Cuando el ajuste del control de ganancia es alto, como aumenta el volumen se produce una distorsión natural. Al ajustar el control del VOLUMEN al mismo tiempo, puede establecer el ajuste que prefiera.
- 2) Con el canal sobreexcitado, cuando se activa el interruptor de amplificación (BOOST), el nivel de volumen aumenta. También puede utilizar el interruptor utilizando un interruptor de pie con retenida. Cuando se enchufa un interruptor de pie en la toma del interruptor de pie (FOOT SW1) del panel trasero, se ignorará el interruptor de amplificación (BOOST).

3. Control de ganancia (GAIN)

Ajusta el nivel de ganancia del canal limpio. Cuando se activa el interruptor de amplificación (BOOST), si se aumenta el control de ganancia (GAIN) éste produce una distorsión natural y se obtiene un sonido crujiente. Al mismo tiempo, el volumen del sonido aumenta.

4. Control de graves (BASS)

Ecualizador de la banda de graves. Se puede reforzar o atenuar la banda de 100 Hz en ± 17 dB.

5. Control de medios (MIDDLE)

Ecuualizador de la banda de medios. Se puede reforzar o atenuar la banda de 1 kHz en ± 12 dB.

6. Control de agudos (TREBLE)

Ecuualizador de tipo meseta para la banda de agudos. Se puede reforzar o atenuar la banda a partir de 1,8 kHz en ± 17 dB.

7. Control de VOLUMEN

Ajusta el volumen del canal normal.

8. Conmutador de canal (CHANNEL)

Conmuta entre el canal normal y el canal sobreexcitado. El indicador LED verde se enciende cuando está seleccionado el canal normal y el rojo se enciende cuando se ha seleccionado el canal sobreexcitado.

Como alternativa al interruptor del canal puede utilizar un interruptor de pie conectado a la toma FOOT SW1 para cambiar los canales. (Si conecta el interruptor de pie a la toma FOOT SW1, se desactiva el interruptor de CANAL).

9. Control de ganancia (GAIN)

Se puede ajustar la ganancia cuando se utiliza el canal sobreexcitado (nivel o distorsión por sobreexcitación). El grado de distorsión se reducirá para producir un sonido claro e individual cuando se sitúa el control en posición baja. Cuando se sitúa en posición alta el grado de distorsión aumenta, al igual que el nivel sostenido.

10. Control de graves (BASS)

Ecuualizador de la banda de graves. Se puede reforzar o atenuar la banda de 100 Hz en ± 12 dB.

11. Control de medios (MIDDLE) e interruptor 'push/pull' de cambio de medios (MID SHIFT)

Controla el ecualizador de la banda de medios. El control de MEDIOS puede atenuar el nivel del centro hasta -20 dB. El interruptor 'push/pull' ajusta la frecuencia del centro de la banda en 1 kHz o 600 Hz para que pueda cambiarse el ajuste rápidamente. Como posible alternativa al interruptor 'push/pull', puede utilizar un interruptor de pie conectado a la toma FOOT SW2 para cambiar la frecuencia (el interruptor 'push/pull' se desactiva cuando se conecta el interruptor de pie al FOOT SW2).

12. Control de agudos (TREBLE)

Ecuualizador de tipo meseta para la banda de agudos. Se puede reforzar o atenuar la banda a partir de 1,8 kHz en ± 12 dB.

13. Control de volumen (VOLUME)

Ajusta el volumen del canal saturado (tenga en cuenta que si el interruptor de amplificación (BOOST) está activado, el volumen se reforzará en 6 dB, aproximadamente el doble).

14. Control de nivel de reverberación (REVERB LEVEL)

Ajusta el nivel de reverberación. Tenga en cuenta que si conecta el interruptor de pie IFS2 a la toma FOOT SW2, puede utilizar éste para desactivar y activar el efecto de reverberación. (El dispositivo de activación/desactivación de reverberación está disponible únicamente con el interruptor de pie. No hay un interruptor correspondiente en el panel principal).

15. Toma de auriculares (HEADPHONES)

Toma de salida para auriculares estereofónicos con clavija 1/4" de pulgada. Cuando se utilizan los auriculares la reproducción de sonido por los altavoces incorporados queda desactivada.

Advertencia

La salida para auriculares produce un gran volumen de sonido. Antes de comenzar a tocar utilizando los auriculares, reduzca el volumen principal; seguidamente súbalo lentamente hasta obtener el nivel que desee. Tenga en cuenta que el ruido y las señales de sonido distorsionado producidas al introducir o extraer la clavija con un volumen alto no solamente dañará los auriculares, sino que también podrá dañar sus oídos.

16. Interruptor de alimentación (POWER)

Con este interruptor se enciende y se apaga el equipo. Cuando no utilice el amplificador, verifique que este interruptor se encuentre en OFF.

17. Toma de BUCLES DE ENVIO DE EFECTOS

Utilice esta toma cuando conecte el amplificador a unidades de efectos compactos. Tomas de salida de 10 dB (sin contar con el ecualizador). Conecte a la toma de entrada de la unidad de efectos utilizando un cable protegido con jack de 1/4".

18. Toma de BUCLES DE RETORNO DE EFECTOS

Utilice esta toma cuando conecte el amplificador a unidades de efectos compactos. Es una toma de entrada de 20 k Ω diseñada para la entrada 10 dB (sin contar el ecualizador). Conecte a la toma de salida de la unidad de efectos utilizando un cable protegido con jack de 1/4".

19. Toma para interruptor de pie (FOOT SW1)

Cuando esté conectado a esta toma, el interruptor de pie IFS2 funciona como un interruptor de activación/desactivación de amplificación y como un interruptor de los canales limpio y saturado.

20. Toma para interruptor de pie (FOOT SW2)

Cuando esté conectado a esta toma, el interruptor de pie IFS2 actúa como un interruptor de activación/desactivación de reverberación y como un interruptor de cambio de medios (interruptor de frecuencia medios) para el canal de saturación.

**Utilice un interruptor de pie de dos canales con retenida. El amplificador TB50R tiene dos tomas para interruptores de pie y viene con un interruptor de pie dual IFS2 incluido. Si va a utilizar solo un interruptor de pie, puede conectarlo a cualquier toma (INTERRUPTOR DE PIE1 o INTERRUPTOR DE PIE2). Si quiere utilizar los dos interruptores de pie al mismo tiempo, debe comprar otro inte-

ruptor de pie IFS2 a su distribuidor o puede conectar un interruptor de pie estéreo de tipo con retenida.

21. Toma de la SALIDA DEL ALTAVOZ EXTERNO

Se utiliza para conectar con otra caja acústica de altavoz utilizando el cable del altavoz con un enchufe monoaural de 1/4" pulgadas. En este caso, el sonido no se reproduce por el altavoz de la caja acústica TB50R. El TB50R puede conectarse a las cajas acústicas de altavoces con impedancias de 16 Ω a 8 Ω .

NOTAS:

No permita que la impedancia del sistema de altavoces a la que está conectado sea inferior a 8 Ω , de lo contrario la carga del amplificador será excesiva y puede resultar dañada.

Tenga en cuenta también la entrada del sistema de altavoces admisible para su conexión. La alimentación de la salida TB50 varía, de acuerdo con la independencia del altavoz conectado, de la siguiente forma.

16 Ω : 25 W 8 Ω : 50 W

Para verificar el funcionamiento seguro de su sistema, consulte los datos anteriores o cerciórese de que el sistema de altavoces tenga suficiente capacidad para admitir la salida.

22. Portafusibles

Cuando se funde un fusible puede existir una avería importante en los circuitos internos. Antes de cambiar fusibles consulte a su proveedor.

23. AC IN

Este enchufe es para el cable CA (incluido). NO utilice ningún otro voltaje diferente al indicado en el panel.

Localización de problemas

1. No se puede conectar la alimentación.

- Compruebe que el cable de alimentación esté correctamente enchufado.
- Intente enchufarlo a una toma de corriente diferente y observe si persiste el problema.

2. Se puede conectar la alimentación, pero no se obtiene sonido.

- Compruebe que la guitarra esté conectada correctamente.
- Elimine todos los componentes externos conectados al bucle de efectos y entre la guitarra y el amplificador y compruebe si se obtiene algún sonido.
- Utilice un cable blindado diferente y compruebe si se obtiene algún sonido.
- Compruebe si el volumen de la guitarra está en "0".
- Utilice una guitarra diferente y compruebe si se obtiene algún sonido.
- Compruebe si el volumen del amplificador está en "0".

- Compruebe si están conectados los auriculares.

3. Se oye ruido.

- Compruebe si hay algo cerca que esté resonando o golpeando contra el amplificador y produzca el ruido.
- Compruebe si la cubierta del enchufe del cable blindado está floja.
- Utilice otra guitarra, efectos o componentes externos y compruebe si se produce el mismo ruido.

4. El interruptor de amplificación (BOOST), interruptor de canal o interruptor de cambio de medios (MID SHIFT) no funcionan.

- Los interruptores de este panel se desactivan cuando el interruptor de pie o el cable están conectados a las tomas del interruptor de pie correspondientes.

5. No se puede cambiar de canal con el interruptor de pie

- Compruebe que el interruptor de pie esté conectado correctamente.

6. No se produce sonido en los auriculares

- Compruebe que los auriculares estén correctamente conectados.
- Conecte otros auriculares y compruebe si se produce sonido.

7. No se emite ningún sonido del altavoz a la toma del ALTAVOZ EXTERIOR.

- Compruebe si están conectados los auriculares.

En caso de defectos

Este producto ha sido revisado exhaustivamente antes de salir de fábrica. Cuando piense que existe un problema, realice los procedimientos indicados más arriba. En el caso improbable de que se produjera alguna anomalía durante la utilización, póngase en contacto con su distribuidor. Además, cuando solicite reparaciones, explique con detalle los síntomas del problema para facilitar su rápida resolución.

Debido a las mejoras de este producto, las especificaciones pueden cambiar sin previo aviso.

Accessori compresi

Interruttore a pedale stereo IFS2
Cavo di alimentazione
Manuale istruzioni

Introduzione

Grazie per l'acquisto dell'amplificatore per chitarra Ibanez TB50R. Leggere attentamente questo manuale prima di usare l'amplificatore in modo da sfruttarne appieno le caratteristiche e le funzioni disponibili. Conservare quindi il manuale in un luogo sicuro.

Informazioni inerenti gli interruttori a pedale

L'amplificatore TB50R è dotato di due prese jack footswitch e un interruttore a pedale stereo IFS2. Se si desidera utilizzare un solo interruttore a pedale, questo può essere collegato indifferentemente ad una delle due prese a jack (FOOT SW1 o FOOT SW2). Per utilizzare simultaneamente due interruttori a pedale, invece, è necessario acquistare un altro interruttore IFS2 oppure collegare un interruttore a pedale stereo del medesimo tipo.

Caratteristiche

L'amplificatore TB50R prevede 50 W di uscita ed è dotato di diffusori Power Jam originali Ibanez da 30 cm per ottenere un suono di alta qualità e un funzionamento semplice.

Il preamplificatore è provvisto di un canale pulito e di un canale overdrive indipendenti, che producono due tipi di suono completamente differenti. Il canale pulito produce un suono pulito e crunch dalle frequenze più basse alle alte. Il canale overdrive produce un suono di distorsione acuto, dolce e potente. Inoltre è dotato di un equalizzatore attivo che fornisce una variabilità di suoni maggiore di quella di un equalizzatore passivo normale. È anche provvisto di una funzione di una funzione di riverbero a molla incorporate per dare profondità al suono.

Precauzioni durante l'uso

- Non sottoporre l'amplificatore a forti impatti facendolo cadere, ecc., e maneggiarlo con cura.

- Installare l'amplificatore in una posizione stabile. Il suono prodotto dall'amplificatore è diverso a seconda del metodo e del luogo in cui è installato.
- Accertarsi che l'amplificatore sia spento quando non lo si usa. Inoltre, togliere il cavo di alimentazione dalla presa di alimentazione quando si prevede di non usare l'amplificatore per un lungo periodo di tempo.
- Non usare o depositare l'amplificatore in luoghi in cui sia esposto a luce solare diretta, o in ambienti soggetti a notevoli sbalzi di temperatura e umidità.
- Portare il livello del volume a "0" o spegnere l'amplificatore mentre si collegano il cavo schermato della chitarra e gli effetti oppure altri cavi richiesti per il collegamento esterno. Fare attenzione poiché il rumore generato quando si inseriscono e tolgono le spine può causare seri guasti all'apparecchiatura.

Nomenclatura e funzioni

1. Presa a jack INPUT

Terminale di ingresso per jack di 6 mm standard. Serve per collegare la chitarra elettrica mediante l'uso di un cavo schermato per chitarra.

2. Interruttore BOOST

Funziona sia con il canale senza interferenze che con il canale di overdrive. Ad interruttore attivato, si accende la spia gialla.

- 1) Quando l'interruttore BOOST è utilizzato con il canale senza interferenze e il comando GAIN è impostato su basso, aumenta il volume audio. Con il comando GAIN impostato su alto, invece, coll'aumentare del volume si ha la distorsione normale. Regolando al contempo il comando Volume, la commutazione può essere impostata a piacere.
- 2) Con il canale di overdrive, a interruttore BOOST attivato, il livello del volume aumenta. L'interruttore può essere attivato, altresì, mediante interruttore a pedale saliscendi. Quando un interruttore a pedale è inserito nella presa a jack FOOT SW1 situata sul retro, esso ignora l'interruttore BOOST.

3. Comando GAIN

Serve a regolare il guadagno del canale senza interferenze. Ad interruttore BOOST attivato, girando verso l'alto il comando GAIN si ottiene una distorsione naturale e un suono scoppiettante. Al contempo, aumenta il volume audio.

4. Comando BASS

Equalizzatore dei suoni della gamma delle basse frequenze. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda 100 Hz in passi di ± 17 dB.

5. Comando MIDDLE

Equalizzatore dei suoni della gamma delle frequenze medie. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda 1 kHz in passi di ± 12 dB.

6. Comando TREBLE

Equalizzatore di smorzamento per suoni della gamma delle alte frequenze. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda di 1,8 kHz o maggiore in passi di ± 17 dB.

7. Comando VOLUME

Regola il livello di volume del canale pulito. Il livello di invio degli effetti viene combinato con il controllo del volume.

8. Interruttore CHANNEL

Si può passare dal canale di overdrive al canale pulito. Il LED verde si accende quando si seleziona il canale pulito, mentre si accende quello rosso quando si seleziona il canale di overdrive.

Per commutare da un canale all'altro, anziché avvalersi dell'interruttore Channel, si può utilizzare un interruttore a pedale collegato alla presa a jack FOOT SW1 (collegando l'interruttore a pedale alla presa FOOT SW1 si disattiva l'interruttore CHANNEL.)

9. Comando GAIN

Si può regolare il gain quando si usa il canale di overdrive (livello di distorsione). La quantità di distorsione viene ridotta per ottenere un suono pulito quando il comando è abbassato. Quando invece viene alzato, la quantità di distorsione aumenta, e così pure il sustain.

10. Comando BASS

Equalizzatore dei suoni della gamma delle basse frequenze. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda 100 Hz in passi di ± 12 dB.

11. Comando MIDDLE e interruttore MID SHIFT

Controlla l'equalizzazione delle frequenze medie. Il comando MIDDLE taglia il livello centrale fino a -20 dB. L'interruttore imposta la frequenza centrale della gamma su 1 kHz o su 600 Hz, per cui l'utente può scegliere l'impostazione molto velocemente. Come alternativa all'interruttore, può essere utilizzato un interruttore a pedale collegato alla presa a jack FOOT SW2 per cambiare la frequenza (l'interruttore è disattivato quando un pedale di controllo è collegato alla presa FOOT SW2).

12. Comando TREBLE

Equalizzatore di smorzamento per suoni della gamma delle alte frequenze. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda di 1,8 kHz o maggiore in passi di ± 12 dB.

13. Comando VOLUME

Regola il livello di volume del canale di overdrive. (Nota: impostando l'interruttore BOOST su ON, il volume risulta incrementato di 6 dB, cioè quasi raddoppiato).

14. Comando REVERB LEVEL

Regola la quantità di riverbero. Nota: collegando l'interruttore a pedale IFS2 alla presa a jack FOOT SW2, questo può essere utilizzato per attivare e disattivare l'effetto riverbero (la funzione REVERB On/Off è controllabile solo tramite l'interruttore a pedale; non vi è alcun interruttore corrispondente sul pannello principale).

15. Presa a jack HEADPHONES

Presa di uscita cuffie stereo con jack di 6 mm che permette il collegamento di cuffie. Il suono non viene riprodotto dai diffusori incorporati quando le cuffie sono in uso.

Avvertenza

L'uscita cuffie produce una potenza sonora di uscita molto alta. Accertarsi che il comando del volume MASTER sia stato diminuito prima di iniziare a suonare quando si usano le cuffie, e dopo aumentare il volume lentamente fino a quando viene raggiunto il livello richiesto. Fare attenzione poiché i segnali di rumore e di suoni distorti prodotti quando si inserisce o si toglie la spina con livelli di volume alti non solo provocano danni alle cuffie, possono anche provocare lesioni agli organi dell'udito di chi indossa le cuffie.

16. Interruttore POWER

Interruttore per accendere e spegnere. Accertarsi che sia regolato in posizione di spegnimento quando l'amplificatore non è in uso.

17. Presa a jack EFFECTS LOOP SEND

Uscita jack da -10 dB (indipendente dall'equalizzazione). Serve a collegare un'unità effetti esterna per mezzo di un cavo schermato con presa jack da 1/4".

18. Presa a jack EFFECTS LOOP RETURN

Ingresso jack da 20 k Ω , progettato per ottenere -10 dB in ingresso (indipendente dall'equalizzazione). Serve a collegare l'amplificatore ad un'unità effetti esterna per mezzo di un cavo schermato con presa jack da 1/4".

19. Presa a jack FOOT SW1

Collegandolo a questa presa, l'interruttore a pedale IFS2 funziona come interruttore on/off BOOST e per il cambio canale (pulito/overdrive).

20. Presa a jack FOOT SW2

Collegandolo a questa presa, l'interruttore a pedale IFS2 funge da interruttore on/off reverb e interruttore Mid Shift (taglio frequenza media) per il canale di overdrive.

**Avvalersi di un interruttore a pedale a due canali, saliscendi. L'amplificatore TB50R è dotato di due prese jack footswitch e un interruttore a pedale stereo IFS2. Se si desidera utilizzare un solo interruttore a pedale, questo può essere collegato indifferentemente ad una delle due prese a jack (FOOT SW1 o FOOT SW2). Per utilizzare simultaneamente due interruttori a pedale, invece, è necessario acquistare un altro interruttore IFS2 oppure collegare un interruttore a pedale stereo del medesimo tipo.

21. Presa a jack EXTERNAL SPEAKER OUTPUT

Serve a collegare un altro armadietto di altoparlanti per mezzo di un cavo dotato di spina monofonica da 1/4". In tal caso, il suono non è riprodotto dall'altoparlante dell'armadietto TB50R. TB50R può essere collegato agli armadietti con impedenze che spaziano da 16 a 8 Ω.

NOTE:

Far sì che l'impedenza del sistema di altoparlante al quale si è collegati non scenda al di sotto di 8 Ω. Il carico di amperaggio è eccessivo e si rischiano danni.

Altrimenti, prendere nota dell'ingresso tollerabile del sistema di altoparlante al quale collegarsi. La potenza di uscita del TB50 varia a seconda dell'impedenza degli altoparlanti collegati:

16 Ω : 25 W 8 Ω : 50 W

Per proteggere il sistema, fare riferimento ai suddetti valori e accertarsi che il sistema di altoparlanti abbia una potenza superiore a quella che dovrà sopportare.

22. Supporto FUSE

Se salta un fusibile, il circuito interno potrebbe subire gravi danni. Prima di sostituire un fusibile, consultare il proprio rivenditore.

23. AC IN

Questa presa è per il cavo CA (incluso). NON utilizzare tensioni di ingresso diverse da quelle indicate sul pannello.

Risoluzioni di problemi

1. L'apparecchiatura non si accende.

- Controllare che il cavo di alimentazione sia stato collegato correttamente.
- Provare a inserire la spina in una presa differente e vedere se si verifica lo stesso problema.

2. L'apparecchiatura si accende ma non viene udito alcun suono

- Controllare che la chitarra sia stata collegata correttamente.
- Togliere tutti i componenti esterni collegati al loop degli effetti e fra la chitarra e l'amplificatore per verificare se viene udito un suono.
- Utilizzare un cavo schermato diverso e verificare se viene udito un suono.
- Verificare se il volume dell'amplificatore è regolato su "0".
- Usare una chitarra diversa per verificare se viene udito un suono.

- Verificare se il volume dell'amplificatore è regolato su "0".
- Verificare se le cuffie sono collegate.

3. Si sente un rumore

- Verificare se niente nell'immediata vicinanza è risonante o batte contro l'amplificatore e produce il rumore.
- Verificare se il rivestimento della spina del cavo schermato è allentato.
- Usare chitarra, effetti, altri componenti esterni e cavo differenti per verificare se viene prodotto lo stesso rumore.

4. Gli interruttori BOOST, CHANNEL e MID SHIFT non funzionano.

- Questi interruttori vengono disattivati qualora l'interruttore a pedale o il cavo siano collegati alla rispettiva presa a jack Footswitch.

5. Se non è possibile passare da un canale all'altro con l'interruttore a pedale

- Controllare che il jack dell'interruttore a pedale sia inserito correttamente nella presa.

6. Nessun suono è prodotto nelle cuffie

- Controllare che le cuffie siano inserite correttamente nella presa.
- Collegare un altro paio di cuffie e verificare se il suono è prodotto.

7. Assenza di suono dall'altoparlante alla presa a jack EXTERNAL SPEAKER.

- Verificare se le cuffie sono collegate.

In caso di difetti:

Questo prodotto è stato sottoposto a rigide ispezioni prima di essere spedito dalla fabbrica. Accertarsi che i procedimenti sopraelencati siano eseguiti quando si pensa di trovarsi di fronte a un problema. Rivolgersi al rivenditore nell'improbabile eventualità che si verifichi qualche anomalia durante l'uso. Inoltre, accertarsi che le caratteristiche del problema vengano spiegate dettagliatamente quando si richiede una riparazione in modo da facilitarne una esecuzione rapida.

Date le migliorie apportate al questo prodotto, le specifiche possono cambiare senza previo avviso.

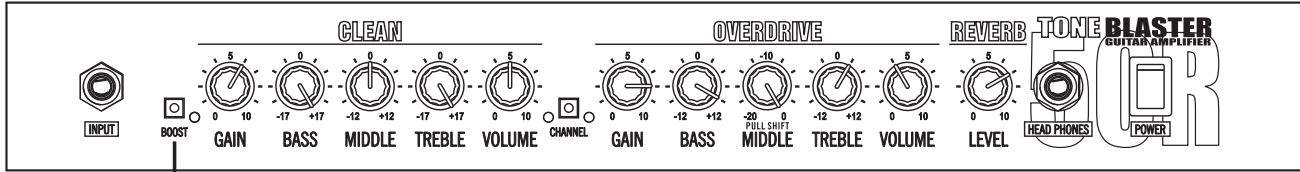
Specifications

- OUTPUT POWER : 50 W @8 Ω
- INPUT IMPEDANCE: 1 MΩ
- CONSUMPTION POWER: 55 W (UL STANDARD)
- EQ
 - CLEAN CHANNEL
 - BASS ±17 dB (100 Hz)
 - MIDDLE ±12 dB (1 kHz)
 - TREBLE ±17 dB (1.8 kHz)
 - OVERDRIVE CHANNEL
 - BASS ±12 dB (100 Hz)
 - MIDDLE -20 dB (600 Hz/1 kHz)
 - TREBLE ±12 dB (1.8 kHz)
- HEAD PHONES OUTPUT: 1.7 W @32 Ω
- SPEAKER UNIT: POWER JAM 1208G (8 Ω)
 - RATED INPUT: 100 W (200 W MAX)
- WEIGHT: 18.2 kg
- DIMENSIONS: 515 mm(H) × 460 mm(W) × 280 mm(D)

Sample settings

DYNAMIC CLEAN

SMOOTH LEAD

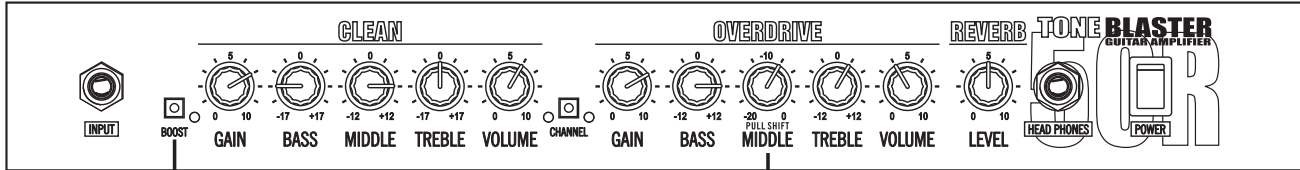


BOOST: OFF
GUITAR PICK UP: CENTER REAR MIX

GUITAR PICK UP: NECK HUMBucker

BLUESY

ALTERNATIVE ROCK

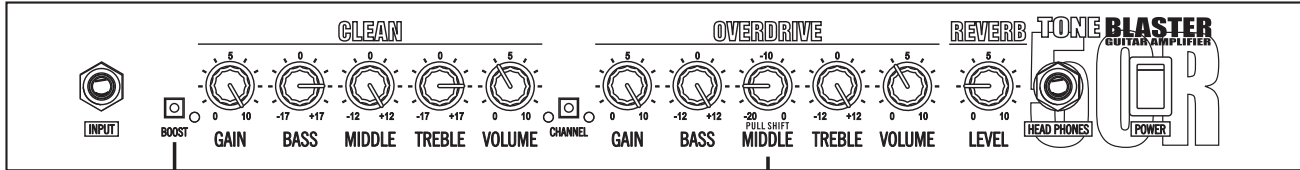


BOOST: ON
GUITAR PICK UP: CENTER

MID SHIFT: PULL
GUITAR PICK UP: CENTER

FUZZY

HEAVY RHYTHM



BOOST: ON
GUITAR PICK UP: BRIDGE HUMBucker

MID SHIFT: PULL
GUITAR PICK UP: BRIDGE HUMBucker

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

WARNING

When using electric products, basic precautions should always be followed, including the following :

- 1) Do not use this product near water – for example, near a bathtub, kitchen, in a wet basement, or near a swimming pool, or the like.
- 2) This products and with headphones or speakers, may be capable of producing sound level that cause permanent hearing loss. Do not operate for a long period of time at a high volume level or at a level that is uncomfortable. If you experience an hearing loss or ringing in the ears, you should consult an audiologist.
- 3) The product should be located away from heat sources such as radiator, heat registers, or other products that produce heat.
- 4) The product should be connected to a power supply only of the type described in the operating instructions or as marked on the product.
- 5) This product may be equipped with a polarized line plug (one blade wider than the other). This is a safe feature. If you are unable to insert the plug into the outlet, contact an electrician to replace your obsolete outlet. Do not defeat the safety purpose of plug.
- 6) The power-supply cord of the product should be unplugged from the outlet when left unused for a long period of time.
- 7) Care should be taken so that objects do not fall and liquids are not spilled into the enclosure through openings.
- 8) The product should be serviced by qualified service personnel when :
 - a) The power-supply cord or the plug has been damaged; or
 - b) Objects have fallen, or liquid has been spilled onto the products; or
 - c) The products has been exposed to rain; or
 - d) The products does not appear to operate normally or exhibits a marked change in performance; or
 - e) The product has been dropped, or the enclosure damaged.
- 9) Do not attempt to service the product beyond that described in the user- maintenance instructions. All other servicing should be referred to qualified service personnel.

SAVE THESE INSTRUCTIONS



Model No : TB50R

The aforementioned equipment fully conforms to the protection requirements of the following EC Council Directives.

89/336/EEC : ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY
73/23/EEC : LOW VOLTAGE DIRECTIVE